

平成30年度の決算報告，経営指標



柏市下水道マスコットキャラクター
蓮子（れんこ）ちゃん

令和元年11月27日
柏市土木部下水道経営課

目 次

- 1 平成30年度の決算報告
- 2 「中長期経営計画」で定めた「経営指標」

※ 資料中、端数処理により合計が一致しない場合があります

1 平成30年度の決算報告

1-1 平成30年度 収益的収支

(単位：億円，税抜)

	H30 (①)	H29 (②)	増減 (①-②)	
収益 (A)	94.6	93.6	0.9	<div data-bbox="1607 368 2428 491">利用者の増</div> <div data-bbox="1607 604 2428 815">うち、一般会計からの基準外繰入金 H30：約4.1億円 H29：約5.5億円</div>
下水道使用料	55.3	54.8	0.4	
他会計補助金	14.0	14.0	△0.1	
長期前受金戻入	25.3	24.7	0.6	
その他	0.0	0.1	△0.0	
費用 (B)	90.3	88.5	1.8	<div data-bbox="1607 892 2428 1015">維持管理経費の増</div>
管渠費等	9.8	8.8	1.0	
流域下水道 維持管理負担金	25.8	24.8	1.0	
減価償却費	46.4	45.6	0.8	<div data-bbox="1607 1112 2428 1235">受贈財産の増</div>
支払利息	7.9	8.8	△0.8	
その他	0.4	0.5	△0.2	
(A) - (B)	4.3	5.1	△0.9	

1 - 2 平成30年度 資本的収支

(単位：億円, 税抜)

	H30 (①)	H29 (②)	増減 (① - ②)
収入 (A)	33.2	30.8	2.4
企業債	14.9	9.5	5.4
他会計出資金	13.0	13.9	△0.9
国庫補助金	1.4	4.1	△2.7
その他	3.9	3.3	0.6
支出 (B)	54.6	56.0	△1.4
建設改良費	21.5	23.4	△2.0
企業債償還金	31.2	31.4	△0.2
その他	1.9	1.1	0.8
(A) - (B)	△21.4	△25.2	3.8

国庫補助金減に伴う増

うち、一般会計からの基準外繰入金
H30：約 3.6億円
H29：約10.1億円

(当初分) 国庫補助対象の減
(補正分) 国庫補助対象の繰越

繰越事業の増

1 - 3 平成30年度 貸借対照表

(単位：億円, 税抜)

	H30 (①)	H29 (②)	増減 (① - ②)	
資産	1,452.1	1,470.8	△18.7	新規資産の減少 減価償却の進行
有形固定資産	1,284.1	1,300.2	△16.2	
無形固定資産	110.0	113.6	△3.6	減価償却の進行
流動資産	58.0	56.9	1.1	
その他	0.1	0.1	△0.0	
負債	1,128.7	1,164.7	△36.0	企業債残高及び利子の減
企業債	373.9	390.3	△16.4	
長期前受金	740.5	757.5	△16.9	国庫補助金等の減少傾向
その他	14.2	16.9	△2.7	
資本	323.5	306.1	17.4	
負債及び資本	1,452.1	1,470.8	△18.7	

1-4 キャッシュ・フローの年度比較

(単位：億円，税抜)

各活動	H30 (①)	H29 (②)	増減 (①-②)
A 業務活動	23.6	29.6	△6.1
B 投資活動	△18.2	△17.4	△0.8
C 財務活動	△3.3	△7.9	4.6
D 資金増加額 (=A+B+C)	2.0	4.3	△2.3
E 資金期首残高 (=前年度のF)	38.7	34.4	4.3
F 資金期末残高 (=D+E)	40.7	38.7	2.0

本業の「儲け」に相当
未払金△7.1 前払金+1.3

有形固定資産の取得+2.0
国庫補助金収入△2.7

企業債収入+5.4
一般会計からの出資△0.9

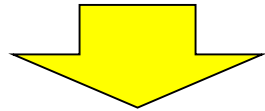
1 - 5 平成30年度の決算の総括

- **当年度純利益 + 約4.3億円**
流域下水道維持管理負担金の増加、支払利息の減少
下水道使用料の増加
- **資産 △約18.7億円、負債 △約36.0億円**
固定資産の償却、企業債・長期前受金の減少
- **資本 + 約17.3億円**
一般会計からの出資、建設改良積立金の増加

2 経営指標

経営指標 20項目

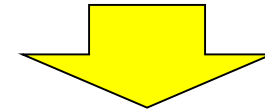
同規模指標あり



他団体（同規模指標等）と比較

独自指標 3項目

同規模指標なし



経年変化で比較

注1) 同規模指標：総務省にて公表された類型区分が同じ都市（政令市除く）の平均値
（柏市の類型区分：処理区域内人口10万人以上、有収水量密度7.5千m³/ha、
供用開始25年以上）

注2) 指標の判断 「↑」：効率性を考えると、数値が高い方が良い
「↓」：効率性を考えると、数値が低い方が良い

2-1 他団体と比較した経営指標

H29の比較で、柏市のほうが**望ましい⇒ピンク**、**望ましくない⇒水色**として、次の表に示しました。

項目	単位	H30	H29				望ましい方向 ※2	
		柏市	柏市	同規模 指標※1	全国 指標	中核市 (公共)		
事業の概要	人口普及率 $\frac{\text{処理区域内人口 } 380,346\text{人}}{\text{行政区域人口 } 421,057\text{人}} \times 100$	%	90.3	90.2	公表対象外	78.8	82.0	↑
	進捗率 $\frac{\text{処理区域内人口 } 380,346\text{人}}{\text{全体計画人口 } 394,400\text{人}} \times 100$	%	96.4	95.4	98.8	93.2	95.2	↑
	一般家庭使用料1ヶ月20m³当り(税込) (【基本料金】543円+【1~10m ³ 】46円/m ³ ×10m ³ +【11~20m ³ 】114円/m ³ ×10m ³)×【税】1.08	円	2,314	2,314	1,877	2,770	2,520	↓
	処理区域内人口密度 $\frac{\text{処理区域内人口 } 380,346\text{人}}{\text{現在処理区域内面積 } 4,672\text{ha}}$	人/ha	81.4	80.7	96.0	61.0	64.5	↑

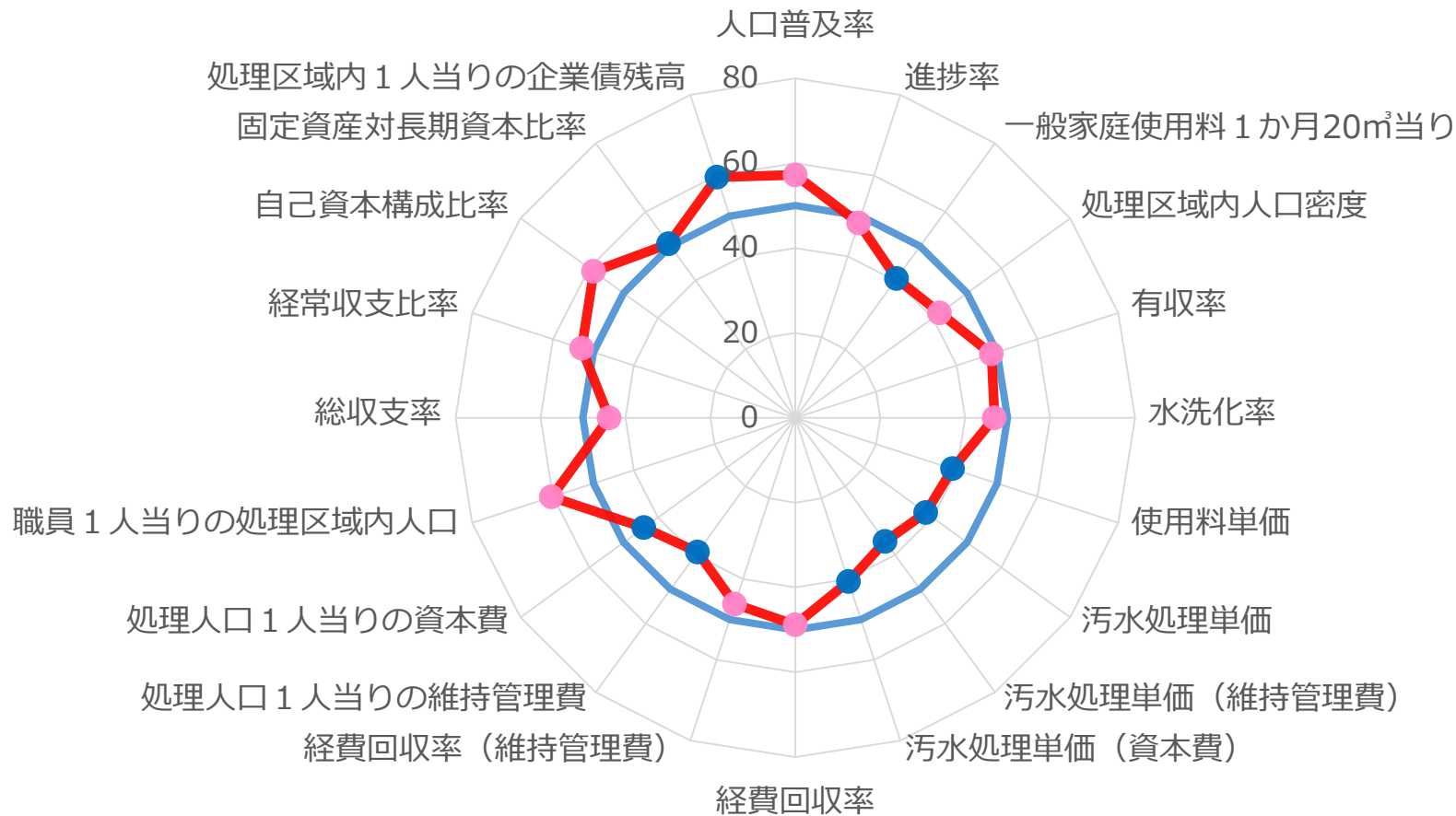
項目		単位	H30	H29				望ましい方向 ※2
			柏市	柏市	同規模指標※1	全国指標	中核市(公共)	
施設効率性	有収率 $\frac{\text{年間有収水量 } 37,423,900\text{m}^3}{\text{年間汚水量 } 46,869,620\text{m}^3} \times 100$	%	79.8	79.7	82.0	80.8	80.6	↑
	水洗化率 $\frac{\text{水洗化人口 } 346,343\text{人}}{\text{処理区域内人口 } 380,346\text{人}} \times 100$	%	91.1	91.0	97.0	95.1	94.2	↑
経営効率性	使用料単価(税抜) $\frac{\text{使用料収入 } 5,525,009,235\text{円}}{\text{年間有収水量 } 37,423,900\text{m}^3}$	円/m ³	147.6	149.9	116.8	138.1	149.2	↓
	汚水処理原価(税抜) $\frac{\text{汚水処理費 } 5,782,282,274\text{円}}{\text{年間有収水量 } 37,423,900\text{m}^3}$	円/m ³	154.5	152.7	116.2	136.4	148.5	↓
	汚水処理原価(維持管理費) $\frac{\text{汚水処理費(維持管理費) } 3,100,437,518\text{円}}{\text{年間有収水量 } 37,423,900\text{m}^3}$	円/m ³	82.8	83.7	60.3	69.7	69.5	↓
	汚水処理原価(資本費) $\frac{\text{汚水処理費(資本費) } 2,681,844,756\text{円}}{\text{年間有収水量 } 37,423,900\text{m}^3}$	円/m ³	71.7	68.9	55.9	66.7	79.0	↓

項目		単位	H30	H29			望ましい方向 ※2	
			柏市	柏市	同規模 指標※1	全国 指標		中核市 (公共)
経営 効率性	経費回収率 使用料収入 5,525,009,235円 汚水処理費 5,782,282,274円 ×100	%	95.6	98.1	100.5	101.3	101.6	↑
	経費回収率（維持管理費） 使用料収入 5,525,009,235円 汚水処理費(維持管理費) 3,100,437,518円 ×100	%	178.2	178.9	193.8	198.3	218.3	↑
	処理人口1人当りの維持管理費 汚水処理費(維持管理費) 3,100,437,518円 処理区域内人口 380,346人	円/人	8,152	8,145	6,374	7,541	7,225	↓
	処理人口1人当りの資本費 汚水処理費(資本費) 2,681,844,756円 処理区域内人口 380,346人	円/人	7,051	6,706	5,910	7,221	8,214	↓
	職員1人当りの処理区域内人口 処理区域内人口 380,346人 職員数 48人	人/人	7,924	7,677	6,357	4,246	4,915	↑
	総収支率 総収益 9,457,243,048円 総費用 9,030,534,933円 ×100	%	104.7	105.8	120.7	122.6	121.9	↑

項目		単位	H30	H29			望ましい方向 ※2	
			柏市	柏市	同規模指標※1	全国指標		中核市(公共)
財政状態健全化	経常収支比率	%	104.7	106.1	100.3	100.6	104.0	↑
	$\frac{\text{経常収益 } 9,457,243,048\text{円}}{\text{経常費用 } 9,028,549,483\text{円}} \times 100$							
	自己資本構成比率	%	73.3	72.3	61.6	59.0	50.1	↑
	$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益 } 106,399,421,536\text{円}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計 } 145,213,181,754\text{円}} \times 100$							
固定資産対長期資本比率	%	99.1	99.4	100.8	101.7	86.3	↓	
$\frac{\text{固定資産 } 139,414,394,403\text{円}}{\text{固定負債} + \text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益 } 140,738,818,987\text{円}} \times 100$								
処理区域内人口1人当りの企業債残高	万円/人	9.8	10.4	12.4	21.0	21.8	↓	
$\frac{\text{企業債残高 } 37,389,554,850\text{円}}{\text{処理区域内人口 } 380,346\text{人}}$								

平成30年度決算見込の同規模指標比較

同規模指標を50※として比較 ※ 人口普及率 ⇒ 全国指標を50



■ 柏市算定値 (指標判断「↑」)
 $= \frac{\text{柏市}}{\text{同規模}} \times 50$

■ 柏市算定値 (指標判断「↓」)
 $= \frac{\text{同規模}}{\text{柏市}} \times 50$

— 同規模指標 = 50

2-2 経年変化で比較した経営指標

項目	単位	柏市算定値		指標の判断
		H30見込	H29	
企業債元利償還金対料金収入比率 $\frac{\text{企業債元利償還金 } 3,917,054,455\text{円}}{\text{使用料収入 } 5,525,009,235\text{円}} \times 100$	%	70.9	73.3	↓
老朽管調査率 $\frac{\text{調査した管路延長 } 79\text{km}}{\text{R7年度末で35年以上経過する管路延長 } 560\text{km}} \times 100$	%	14.1	12.5	↑
管路健全率 ⇒ 第1期包括委託の管路健全率 $\frac{\text{期間内改修予定のうち改修済の管路延長}}{\text{期間内改修予定の管路延長(緊急度Ⅰ・Ⅱ) } 4.2\text{km}} \times 100$	%	—	—	↑

※「3 管路健全率」については、当初設定した「総延長に対する健全な管路延長」を正確に把握することは困難であるため、「第1期包括委託の管路健全率」へ変更します。

企業会計移行後の経年変化

(単位：%)

